

平成21年10月28日

第6回 奈良中心市街地交通処理対策検討委員会 議 事 録

1. 開催日時 平成21年10月21日（水）10:00～12:00

2. 開催場所 奈良国道事務所 4階会議室

3. 出席者

委員 倉内 文孝（岐阜大学工学部准教授）

委員 国土交通省近畿地方整備局奈良国道事務所長

委員 奈良県土木部長（代理：次長）

委員 奈良県土木部まちづくり推進局長

委員 奈良県地域振興部文化観光局長（代理：ならの魅力創造課長）

委員 奈良県警察本部交通部長（代理：交通規制課長）

委員 奈良警察署長（代理：交通第一課長）

委員 奈良市副市長（代理：企画部長）

委員 奈良市観光協会長（代理：専務理事）

事務局 奈良県土木部道路・交通環境課

国土交通省近畿地方整備局奈良国道事務所

4. 議 事

◆事務局より以下について説明がありました。

【第5回委員会の概要について】

・第5回委員会での議事内容についての説明

【奈良公園交通社会実験について】

- ・昨年に引き続き10月31日、11月1日、3日に一方通行規制、歩行者空間の確保、公園内周遊バスの運行、パークアンドライド等の渋滞対策等の社会実験を行う。
- ・昨年度からの変更点
 - ① 一方通行規制を昨年と反対で実施
 - ② 仮歩道設置区間の延長
 - ③ 京都方面からの流入対策として奈良阪にP&R駐車場を設置
- ・社会実験実施にあたり、公共交通への転換、通過交通の迂回誘導によるエリア1への進入車両の減少、種々の情報提供によるパークアンドライド駐車場の利用台数の増加及び迷走車両の減少等について、交通量調査、アンケート調査等により検証を行う。

【平城遷都1300年祭の交通処理と1300年祭に向けた社会実験の実施】

- ・ 10月24日、25日に1300年祭に向けた社会実験を行う。
- ・ 実験の内容は木津川市体育館でP&R駐車場を実施する。
- ・ 1300年祭本番に向けて「広報の有効性」、「案内誘導の有効性」、「運営体制の妥当性」について実験により検証を行う。

◆ その後の審議の中で、以下の点について意見が出ました。

【奈良公園交通社会実験】

- ・ 駐車場案内システム情報の提供方法について、課題を把握し今後の施策に活かすことが出来るように調査を行うこと。
- ・ P&R駐車場の利用者に関する調査は、リピーターに関して満足度等を把握できるように実施すること。
- ・ 帰宅時に奈良公園から主要I.C間の所要時間の提供については、リアルタイム情報だけでなく統計情報や予測情報（ある時間になると混雑が解消される）と組み合わせて提供するとより効果的と思われるので、検討すること。

【平城遷都1300年祭の交通処理と1300年祭に向けた社会実験の実施】

- ・ 郊外駐車場の運行については効率的な運営に向け、人と車の動線をよく考えて実施すること。
- ・ 公共交通など全体の交通対策に活かせるようP&R以外の交通対策に関する検証を実施すること。
- ・ 1300年祭本番では、バス停で待っている時間、シャトルバス車内、駅シャトルの車内など楽しめる工夫を考えること。

◆ 次回委員会では、社会実験の効果について分析、検証した結果を基に今後展開する交通施策について議論を進めていくこととなりました。

以 上